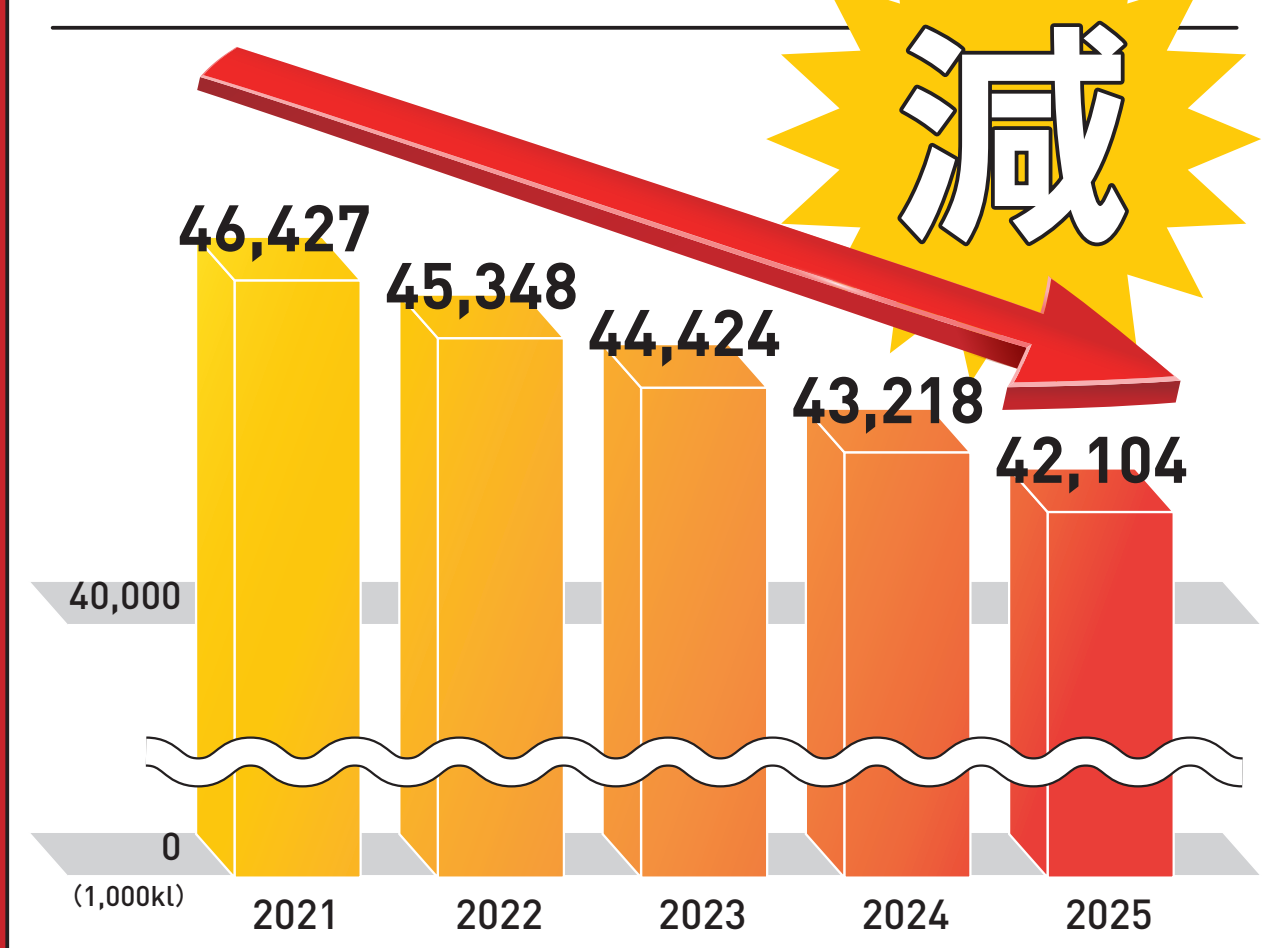


持続可能なSS運営の実現に向けて

適正利益を確保し、

明日の変化に備えよう

ガソリン内需想定見通し



2050年カーボンニュートラルや  
2035年新車電動化100%の流れを受けて  
大きな需要減が想定されています。  
減少幅が少ないこの5年間で適正収益を確保し、  
そして事業の多角化等に取り組み、  
SS運営を持続させていきましょう。



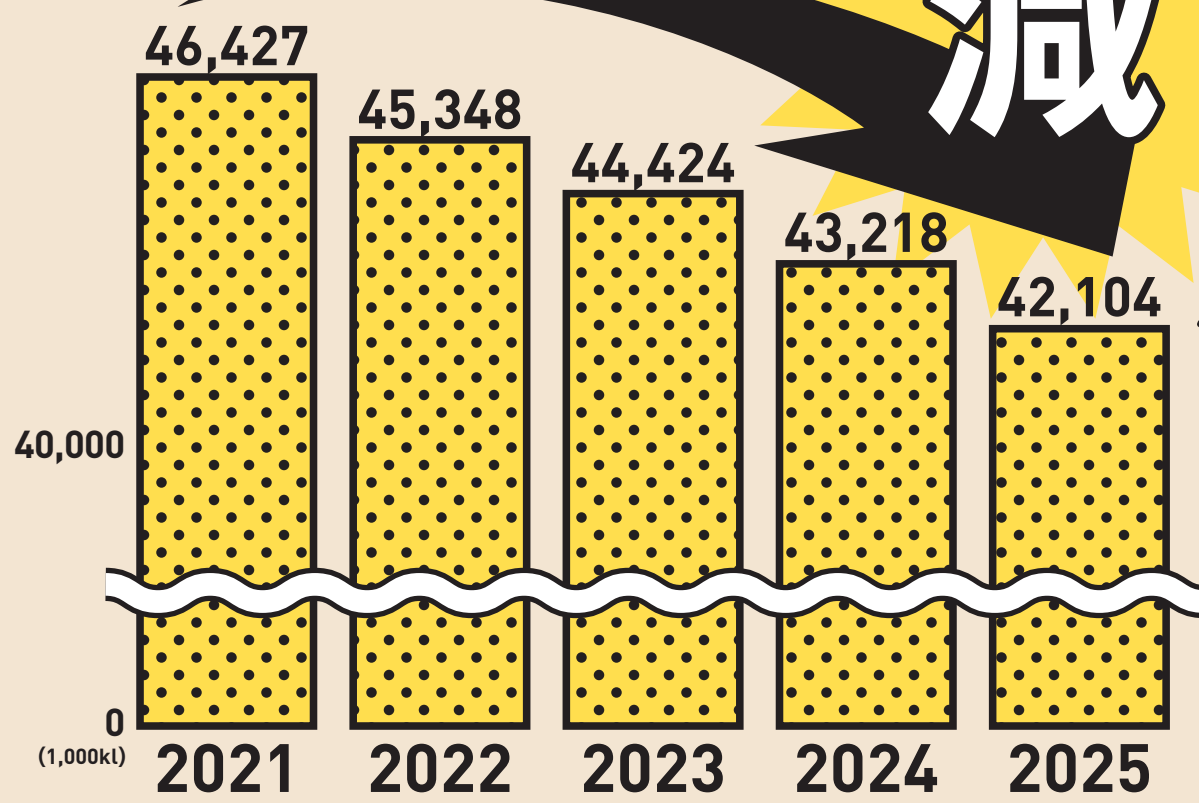


ガソリン内需想定見通し  
(資源エネルギー庁推定)

年率  
平均

2.4%

減



2050年

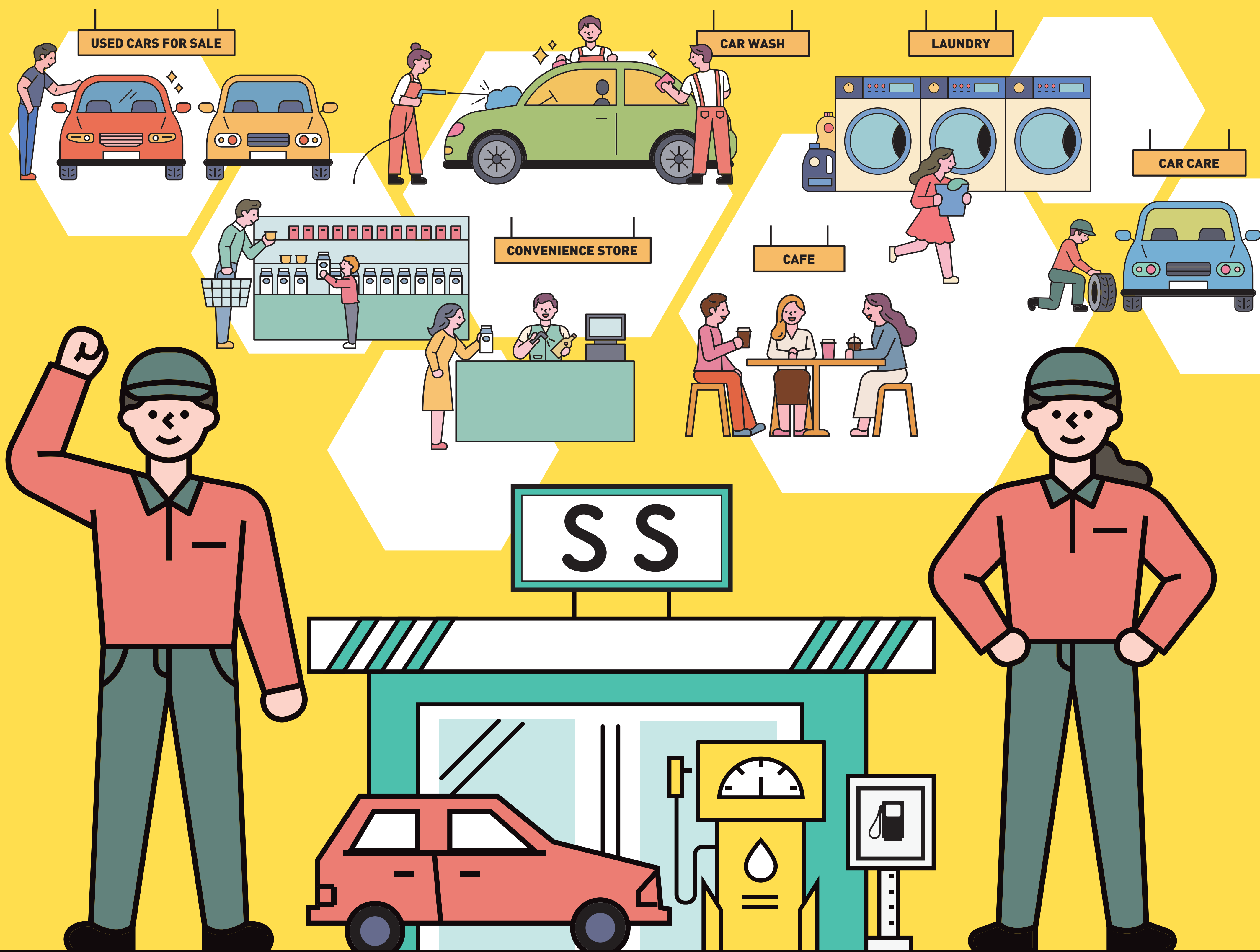
カーボン  
ニュートラル

2026年以降はさらに  
大きな内需減の見込み

2035年

新車電動化  
100%

持続可能なSS運営の実現に向けて  
適正利益を確保し、  
明日の変化に備えよう



全国石油商業組合連合会 経営部会